

## 駒ヶ根市 介護職員初任者研修 カリキュラム

科目名	研修目標	研修内容
1. 職務の理解	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護とは</li> <li>・介護サービスの仕事とは</li> <li>・介護の資格とキャリアシステム</li> </ul>
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権と尊厳の保持</li> <li>・QOLの考え方</li> <li>・ノーマライゼーション</li> <li>・虐待防止・身体拘束禁止</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要</li> <li>・自立支援</li> <li>・介護予防</li> </ul>
3. 介護の基本	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護環境の特徴の理解</li> <li>・介護の専門性</li> <li>・介護に関わる職種</li> <li>・職業倫理</li> <li>・介護労働における安全の確保</li> <li>・事故予防</li> <li>・安全対策</li> <li>・感染対策</li> <li>・介護職のこころの健康管理</li> <li>・介護職のからだの健康管理</li> </ul>
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度や障がい福祉制度を担う一員として知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務についてその概要のポイントを列挙できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度創設の背景と目的</li> <li>・介護保険制度の動向</li> <li>・介護保険制度のしくみ（保険システム、要介護認定、ケアマネジメント、介護報酬、財源、組織、その他）</li> <li>・介護サービスの分類と種類</li> <li>・主な介護サービスの内容とサービス事業者・施設</li> <li>・保険給付以外の事業</li> <li>・介護における医療と福祉の連携</li> <li>・介護職と医行為</li> <li>・リハビリテーション</li> <li>・障害者自立支援制度の背景</li> <li>・障害者総合支援法に基づく総合的な支援制度</li> <li>・障害者ホームヘルプサービスの運営</li> <li>・生活保護制度</li> <li>・生活困窮者自立支援法</li> <li>・成年後見制度</li> <li>・日常生活自立支援事業</li> <li>・虐待防止制度、その他の制度</li> </ul>

## 駒ヶ根市 介護職員初任者研修 カリキュラム

科目名	研修目標	研修内容
5. 介護におけるコミュニケーション技術	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、最低限取るべき（取るべきでない）行動を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割</li> <li>・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション</li> <li>・利用者・家族とのコミュニケーションの実際</li> <li>・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際</li> <li>・記録における情報の共有化</li> <li>・介護サービスにおける報告、連絡、相談</li> <li>・コミュニケーションを促す環境</li> </ul>
6. 老化の理解	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴</li> <li>・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</li> <li>・高齢者の疾病と生活上の留意点</li> <li>・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</li> </ul>
7. 認知症の理解	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの理念</li> <li>・認知症の概念、認知症による障がい、健康管理</li> <li>・認知症の中核症状、行動・心理症状、認知症の利用者への対応</li> <li>・家族への支援</li> </ul>
8. 障害の理解	障害の概念とICF、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの概念</li> <li>・ICFの考え方</li> <li>・障がい者福祉の基本理念</li> <li>・視覚障がい、聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・咀嚼機能障がい、肢体不自由、内部障がい、障がいの受容、知的障がい、精神障がい、高次脳機能障がい、発達障がい</li> <li>・家族の心理</li> <li>・家族への支援</li> </ul>
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。	9-1. 介護の基本的な考え方
		9-2. 介護に関するこころのしくみの基礎的理解
		9-3. 介護に関するからだのしくみの基礎的理解
		9-4. 生活と家事
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理論に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除）</li> <li>・法的根拠に基づく介護</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と記憶の基礎知識</li> <li>・感情と意欲の基礎知識</li> <li>・自己概念と生きがい</li> <li>・老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識</li> <li>・骨、関節、筋に関する基礎知識</li> <li>・中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識</li> <li>・自律神経と内部器官に関する基礎知識</li> <li>・こころとからだを一体的に捉える</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と家事の理解</li> <li>・家事援助に関する基礎的知識と生活支援</li> </ul>

## 駒ヶ根市 介護職員初任者研修 カリキュラム

科目名	研修目標	研修内容
		9-5. 快適な居住環境整備と介護 ・ 快適な居住環境に関する基礎知識 ・ 高齢者、障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法
		9-6. 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 整容に関する基礎知識 ・ 整容の支援技術
		9-7. 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 移動・移乗に関する基礎知識 ・ さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法 ・ 利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ・ 移動と社会参加の留意点と支援
		9-8. 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 食事にに関する基礎知識 ・ 食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ ・ 楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ・ 食事と社会参加の留意点と支援
		9-9. 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 入浴、清潔保持に関連した基礎知識 ・ さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 ・ 楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
		9-10. 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 排泄に関する基礎知識 ・ さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・ 爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
		9-11. 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 睡眠に関する基礎知識 ・ さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・ 快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
		9-12. 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 ・ 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ ・ 生から死への課程 ・ 「死」に向き合うところの理解 ・ 苦痛の少ない死への支援

## 駒ヶ根市 介護職員初任者研修 カリキュラム

科目名	研修目標	研修内容
		9-13. 介護過程の基礎的理解 ・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ 9-14. 総合生活支援技術演習 ・事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題 ・3事例を提示（要介護1～5程度、認知症、片麻痺、独居など）
10. 実習	1. 介護実習 ・講義、演習の内容を施設サービスの各入所又は通所施設において経験し、基礎的な生活支援技術の習得を図る。 （実習生2名につき、実習指導者又は実習担当者1名を配置）  2. 訪問介護サービス同行訪問 ・訪問介護サービスに同行し、基礎的な生活支援技術の習得を図る。 （実習生1名につき、実習指導者1名を配置）	1. 介護実習 入所施設・事業所又は通所施設・事業所への介護実習  2. 訪問介護サービス同行訪問 居宅サービス等との同行訪問による業務実習
11. 振り返り	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。	・初任者研修を通して学んだこと、就業後も継続して学ぶべきことの再確認 ・利用者の自立を支援する介護のあり方 ・利用者の状態像に応じた介護と介護課程 ・身体、心理、社会面を総合的に理解するための知識の重要性 ・チームアプローチの重要性